

装備の知識について

アウター・リヤ・ビュー・ミラー

エンジン・フード

ヘッドランプ



ドア・アウトサイド・ハンドル

サイド・ターン・シグナル・ランプ
ハザード・ウォーニング・ランプ

フロント・ターン・シグナル・ランプ
ハザード・ウォーニング・ランプ

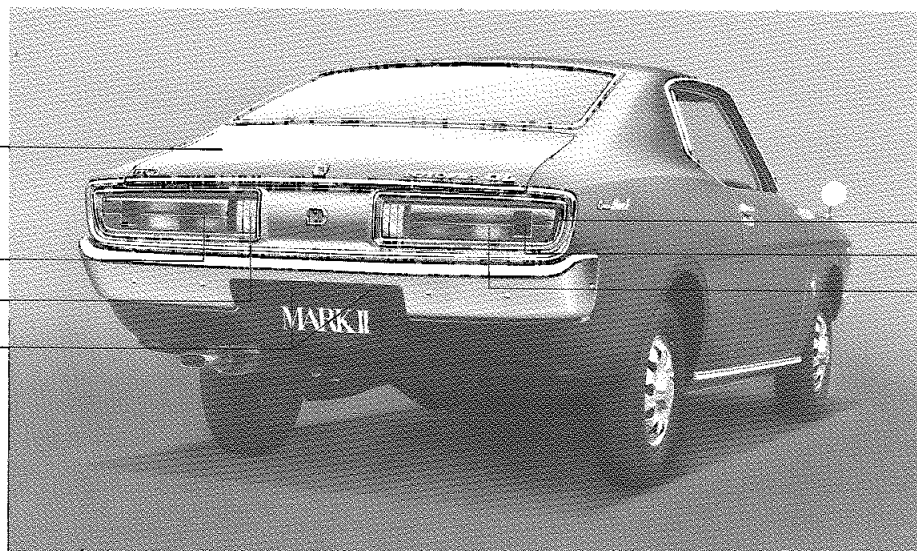
クリアランス&フロント・パーキング・ランプ

トランク・リッド

テール&ストップ・ランプ

バック・アップ・ランプ

ライセンス・プレート・ランプ

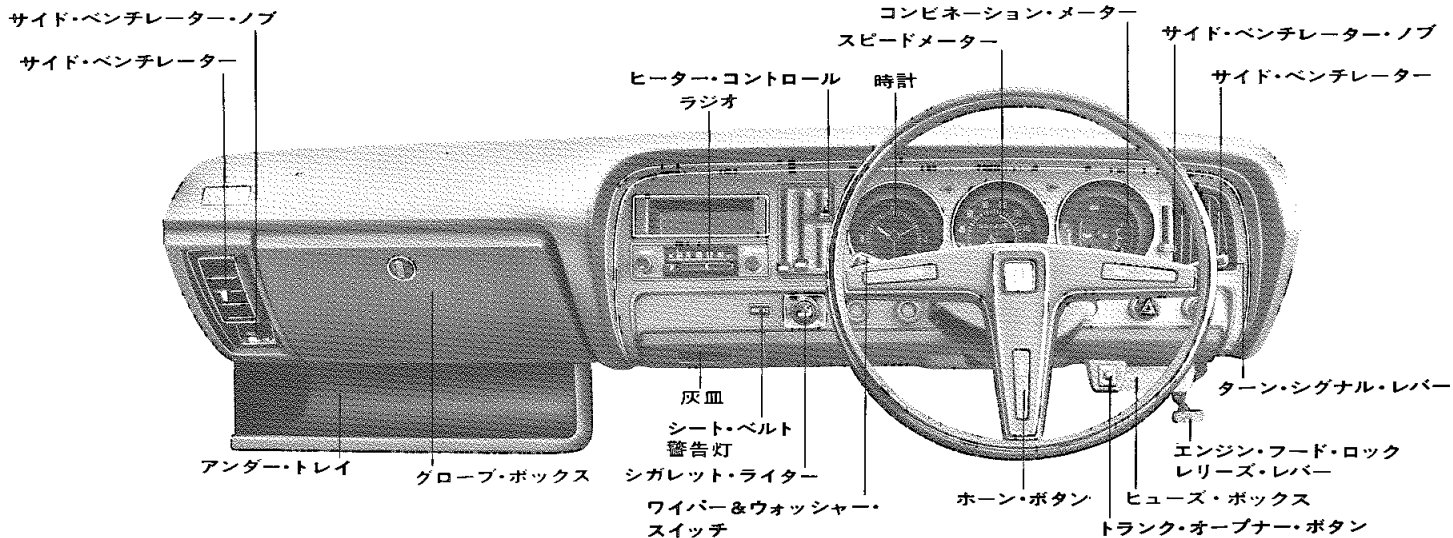


テール&パーキング・ランプ

反射器

ターン・シグナル・ランプ
ハザード・ウォーニング・ランプ

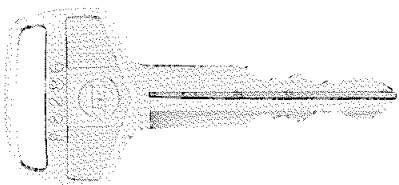
コ罗纳 マークII ハードトップ GL車



コロナ マークII ハードトップ GL車

ご乗車の前に——

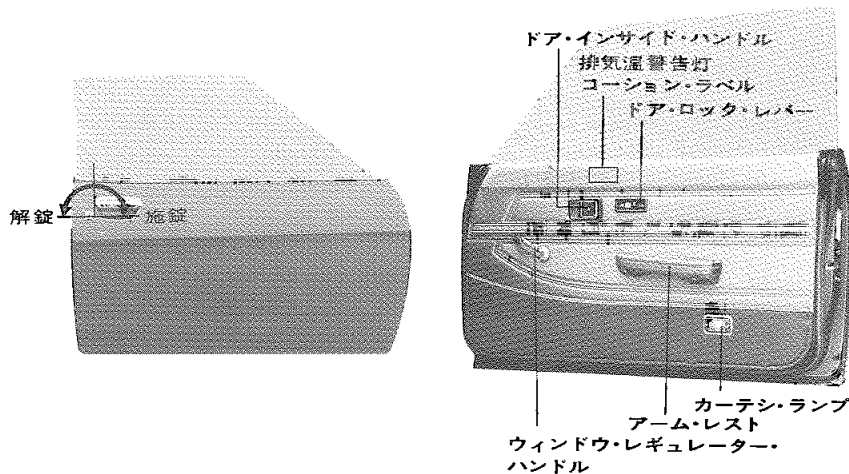
■ キーを確認しましょう。



【重要】

キー・ナンバーを控えておきましょう。万一、キーを紛失した場合には、キー・ナンバーをトヨタ販売店へご連絡いただければ、専用のカッターにより純正の複製キーを作ることができます。純正以外の複製キーは、お使いにならないでください。

■ ドアについて



ドアをあけるときは

車外から……

ドア・アウトサイド・ハンドルの内側のレバーを引き上げます。

車内から……

ドア・インサイド・ハンドルを手前に引きまします。

★注意

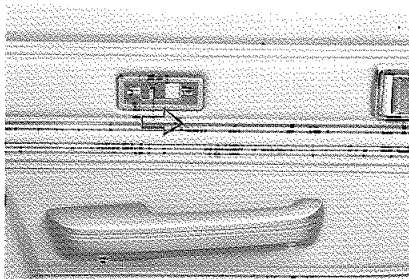
必ず後方確認をしましょう。いきなりあげると後続車がぶつかる恐れがあります。

ドアを閉じるときは
確実にしめましょう。

★注意

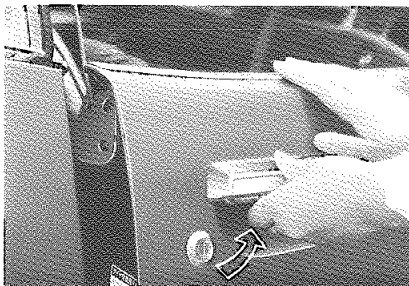
半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

ドアをロックするときは
車内から……



ドア・ロック・レバーをロックの位置にします。

車外から……



ロック・レバーを、ロックの位置にして
ドア・アウトサイド・ハンドルの内側の
レバーを引き上げたままドアをしめます。

★注意

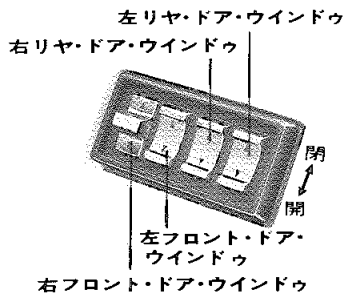
キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

■パワー・ウィンドウ

GSL, L, LX, LG車標準

GL車オプション

〈マスター・スイッチ〉



ドア・ウィンドウ・ガラスは、すべてスイッチで開閉できます。

また、運転席からは、全ドアのウィンドウ・ガラスがリモート・コントロールできるマスター・スイッチが取り付けられています。

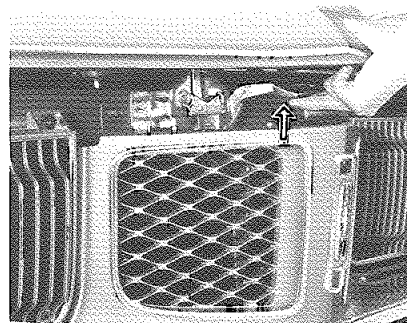
★注意

ウィンドウの開閉は、エンジンがかかっているときに行なってください。

■エンジン・フードをあけるには



1. 計器盤下のノブを引きます。
ロックがはずれ、セーフティ・ラッチがかかった状態になります。



2. エンジン・フードのすき間に手を入れセーフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱいあけます。
3. 閉じるときは、フードを下げた前端を押えつければロックします。

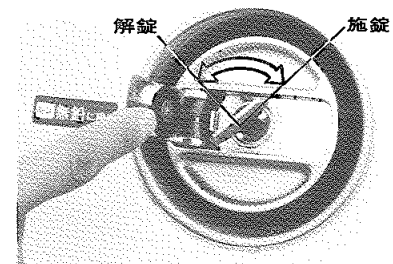
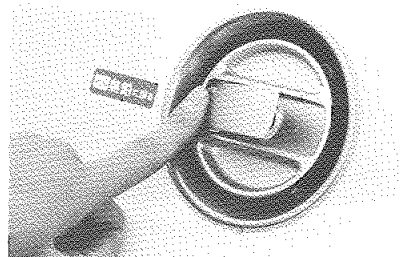
★注意

フードが半ロックの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには

必ず無鉛レギュラー・ガソリンを補給してください。

有鉛ガソリンやガソリン添加剤を使用すると、触媒装置の浄化性能を損みます。

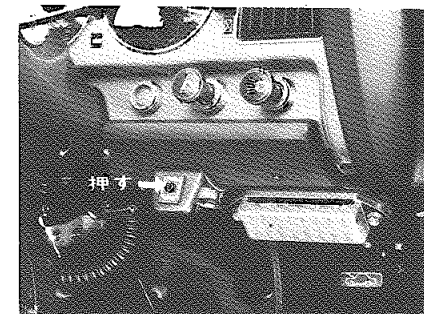


カバーを開き(写真参照)キーを差し込んで左に回し、さらにキャップを左に回してはずします。

はめるときは、裏側の切り欠きに合わせ右に回し、キーを差し込み施錠します。

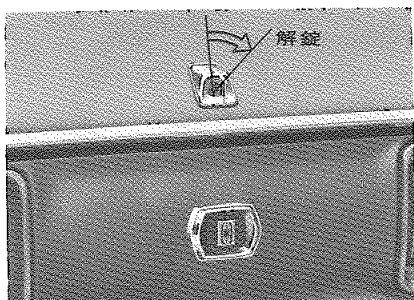
■トランクをあけるには

電磁式トランク・オープナー GL車以上は標準
DX車オプション



エンジン・スイッチがACCまたはONのときボタンを押すとトランク・リッドが浮き上がります。

キーを使用するときは



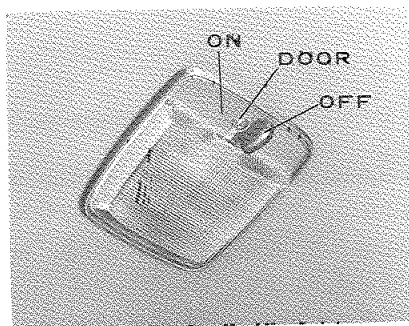
キーを差し込み、右に回します。閉じるときは、上から手で押えつけるとロックされます。また、GL車以上はライト・コントロール・スイッチがONのときにトランクを開けるとランプが点灯し、トランク内が照明されます。

★注意

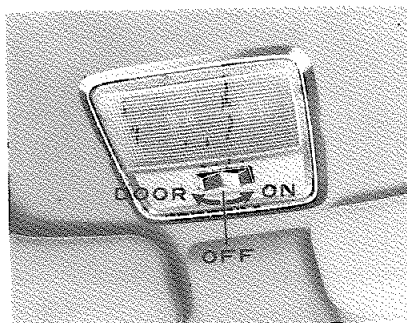
キーをトランク内に置き忘れないようにしましょう。

■ルーム・ランプとドアの関係は

DX, GL, GSL, LA車



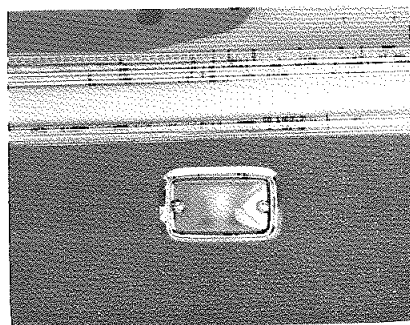
L, LX, LG車



ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

- ON ドアの開閉に関係なく点灯
- DOOR ... ドアを開いたときのみに点灯
- OFF ドアの開閉に関係なく消灯

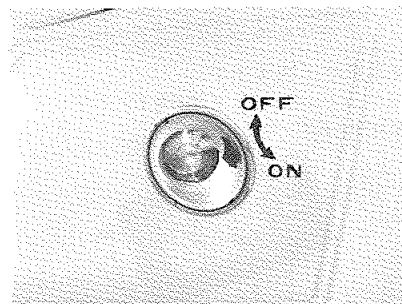
■カーテシ・ランプ



左右ドアの足もとに取り付けてあります。ドアを開いたとき常に点灯します。

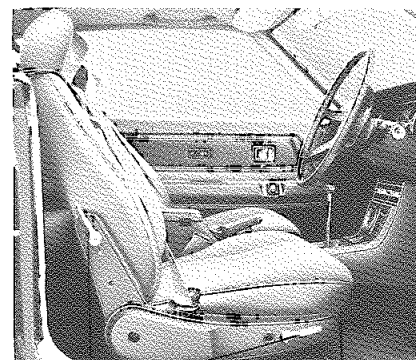
■リヤ・ルーム・ランプ

L, LX, LG車



スイッチを押すと点灯します。

シートについて



リクライニング・アジャスト・レバー
シート・アジャスト・レバー

■フロント・シートの位置を調整しましょう。

シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。

ペダルを十分に踏むことができ、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押ししている間、前後に移動できます。

調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

リクライニング調整

シート・クッション横または、シート・バック横に調整レバーがあります。

レバーを引くと、シート・バックの角度が調整できます。またリヤ席の乗り降り

無断複製禁止

のときは、シート・バックを前にいっぱい倒します。

助手席はシート・バックをいっぱい前に倒すと、シートを前に押し出すことができます。

シート・バックをもとへもどすと、シートは自動的に少し下がりますが、このとき確実にロックするまで後ろに引いてください。

もとの位置へもどすときは、シート下のレバーで調整してください。

★注意

シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

■ヘッド・レストを正しい位置に前に押しして高さを2段に調整できます。

上の位置で使用してください。

ヘッド・レストの正しい位置



■シート・ベルトを忘れずに

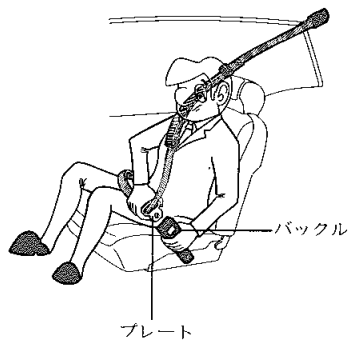
運転するときは、必ずシート・ベルトをしましょう。ベルトはいつも清潔にしておきましょう。

また破れがないか点検しましょう。

なお、汚れを落とすには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。

装着方法

1. シートを調節し、正しい姿勢ですわります。
2. 巻き取り装置からベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認してプレートにバックルにはめます。プレートがバックルにはまらないときは、ベルトが長くなるように調整します。



3. 巻き取り装置からベルトをいっぱい引き出した状態で、腰部のベルトが腰骨にぴったりするまで、肩ベルトを引き上げます。

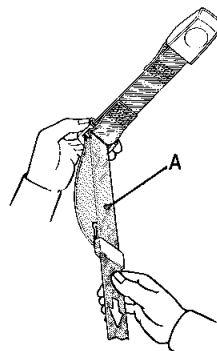


4. 胸とベルト間に、にぎりこぶしが入る位、余裕があるように肩ベルト部を調整します。

ベルトの調整

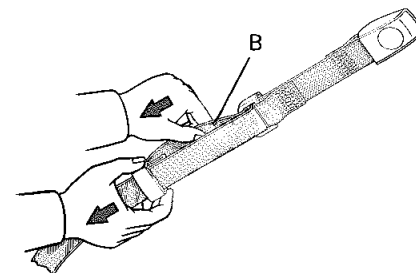
〈長くする場合〉

A部のベルトを水平方向に引っ張り長くします。

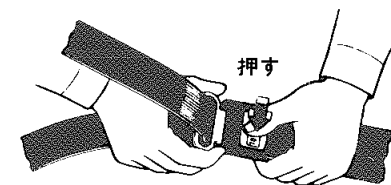


〈短くする場合〉

B部のベルトを引き下げベルトを短くします。



取りはずし



バックルの中央のボタンを押してベルトをはずします。

リヤ・シート・ベルトの装着方法

プレート側のベルトをいっぱい引き伸ばしバックルにはめ長さを調整します。

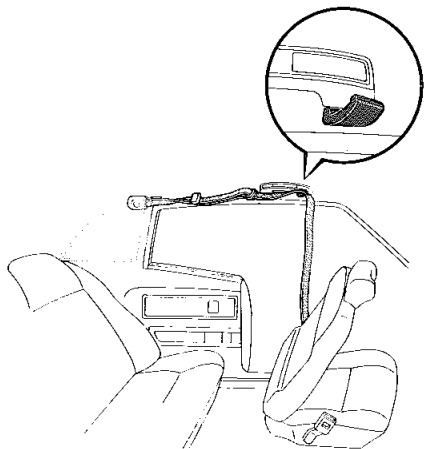
★注意

1. 腰ベルトは、腰骨の位置にしっかり装着してください。
2. 1本のベルトを2人で使用することは、やめてください。

3. ベルトのよごれを落とすには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。
4. お子様を使用することはやめてください。

リヤへ乗り降りする時

ベルトのプレート部をフックに掛けると、乗り降りが便利です。

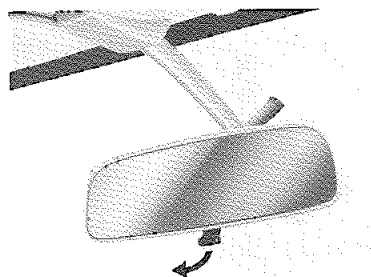


■ ミラーの調整をしましょう。

インナー・リヤ・ビュー・ミラー
 アウター・リヤ・ビュー・ミラー

後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー



夜間走行の場合、後続車のライトがインナー・ミラーに写り、まぶしいときに使用します。

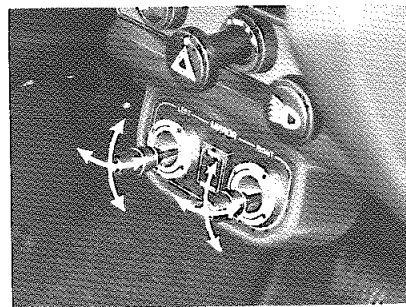
ミラーの下にあるレバーを手前に引くと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車が確認しやすくなります。

防眩が必要なくなったときは、レバーを押してもとの位置にします。

リモート・コントロール・ミラー

L G車標準

L, L X車オプション

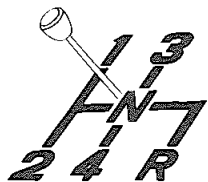


左右のノブの動きは、アウター・リヤ・ビュー・ミラーと連動になっていますので、後方視野が十分確認できる位置に調整しましょう。

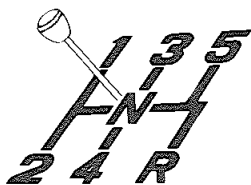
シフト・レバーについて

■マニュアル・トランスミッション

4速フロア・シフト

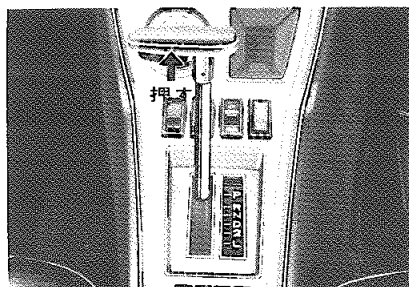


5速フロア・シフト



■オートマチック・トランスミッション

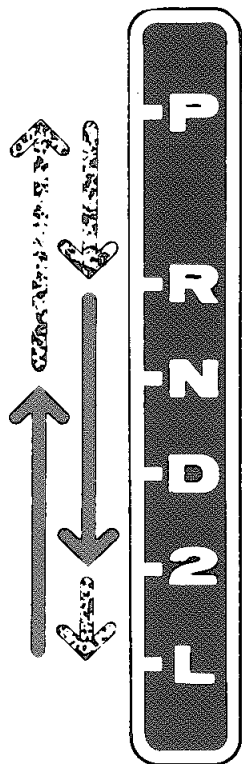
<各レンジへの入れ方>



そのまま動かします。



コントロール・レバー・ボタンを押して動かします。



Ⓐパーキング・レンジ……駐車するときとエンジンを始動する位置

Ⓑリバース・レンジ……車をバックさせるときの位置

Ⓒニュートラル・レンジ……エンジンを始動させる位置

Ⓓドライブ・レンジ……通常走行する位置

Ⓔセカンド・レンジ……エンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

Ⓕロー・レンジ……強いエンジン・ブレーキが必要なときに使う位置

<運転のしかた>

○通常はⒹで発進するとロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤにと自動的に替わります。

○マニュアル・トランスミッション車と同様に、Ⓓから発進し、ⒺからⒹへと手動の操作でも運転できます。

○急坂路を下るときは、スピードに応じてⒹまたはⒺに入れて、エンジン・ブレーキをかけます。

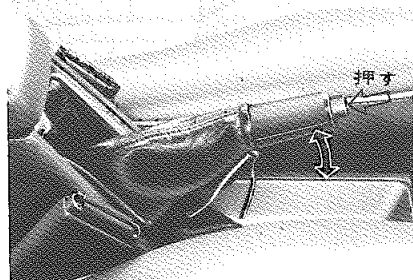
○追い越しなど、急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーはⒹでも、ギヤはトップからスピードによりセカンドまたは、ロー・ギヤに切り替わって急加速ができます。 (キック・ダウン操作)

●注意

1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキ・レバーを引き、ⒶまたはⒹにしてください。
2. ⒹとⒷへは、必ず車が完全に止まってから、入れてください。
3. 停車中ⒸまたはⒹ以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、ⒸからⒹまたはⒷへ切り替えることは危険です。必ずアクセル・ペダルから足を離してⒹまたはⒷへ切り替えてください。
また停車中シフトするときは、パーキング・ブレーキ・レバーを引くかブレーキ・ペダルを踏んで行ってください。

パーキング・ブレーキ・レバーについて

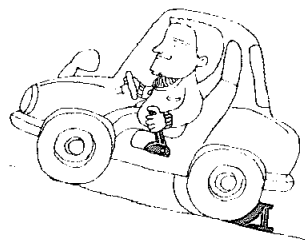
■パーキング・ブレーキ・レバー



駐車時、いっぱい引いて使します。もどすときは、レバーを軽く引き上げながら、レバー先端のノブを押えてもどします。

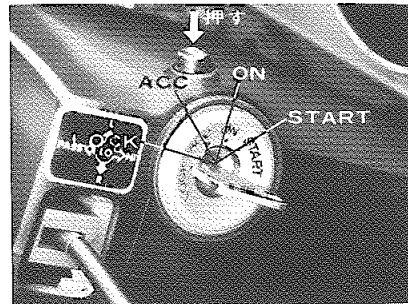
坂道での駐車は……

パーキング・ブレーキを引いた上、ギヤをローまたはリバース(オートマチック車はパーキング・レンジ)に入れ、さらに上り坂では後輪に、下り坂では前輪に輪止めをします。



エンジン始動について

■エンジン・スイッチ



LOCK ……キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。

ACC ……エンジンをつめたまま、ラジオおよびカー・ステレオの開ける位置。

ON ……エンジン運転中の位置。

START ……エンジンを始動する位置。手を離せば自動的にONにもどります。

ロック

キーをACCからLOCKの位置にするときはプッシュ・ボタンを押えて回します。

アン・ロック

キーがLOCKからACCに回らないときは、ハンドルを軽く左右に回しながら、エンジン・キーをACCの方向に回すとはずれます。

★注意★

1. エンジン停止時、スイッチはLOCKまたはACCの位置にしておきましょう。長時間停止するときはLOCKの位置にしてください。ONの位置で放置するとバッテリー上がりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのままSTARTの位置で長時間回さないでください。バッテリーが上がります。
3. エンジンを止めてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリー上がりの原因になります。
4. エンジンがかかっているとき、キーをSTARTの位置に向きないようにしましょう。スターターが無理にかみあい破損します。

■エンジンを始動するには

オートマチック・チョーク

1. エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

外気温	踏む回数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

2. アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。
3. しばらく暖機運転をします。オートマチック・チョークが働いている間は、アイドリング回転数は通常より高くなっているのでアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。
4. (18R-U) 暖機運転のときエンジンを高回転のまま10分間以上放置しないでください。水温が上がったら必ず一度アクセル・ペダルを踏み込んで、エンジン回転数を下げてください。(M-U, M-EU) エンジンが暖まると、自動的にアイドリング回転に下がります。

スイッチ、メーター について

■スピードメーター〈速度計〉

指針は車の走っているスピードを示し、約100km/h以上の速度になると、チャイムがなり警告します。

チャイムが鳴っているとき、指針が振れることがあります、異常ではありません。

■オド・メーター〈総積算距離計〉

走行した総距離をkmの単位で表わします。白地に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター〈積算距離計〉

オド・メーターと共に走行した距離を表示します。ある区間または期間に走行する距離を知りたいときは、0にもどして使用します。0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを押せば0にもどります。

■タコメーター〈エンジン回転計〉

6眼メーター付き車

エンジン回転数を示します。

赤色の部分をレッド・ゾーンといい指針がレッド・ゾーンにあるときは、エンジンがオーバーランをしていることを示します。指針がレッド・ゾーンにはいらないようにしてください。

G S L車

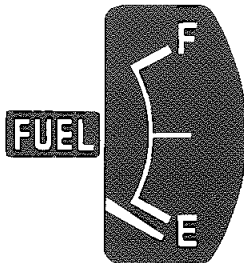
6,500回転以上

L, LX, LG車

6,000回転以上

■フューエル・ゲージ〈燃料計〉

エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



Eに近づいたら
早めに燃料を補給してください。

■フューエル・ウォーニング・ランプ

〈燃料残量警告灯〉 6眼メーター付き車

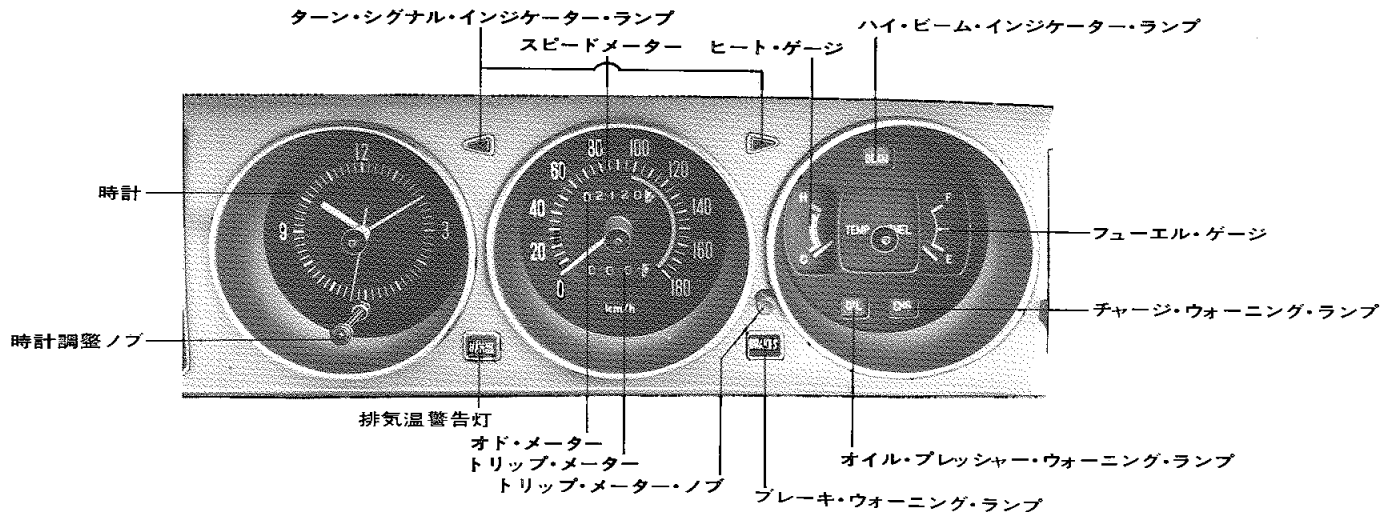
エンジン・スイッチがONのときフューエル・タンク内の残量が10ℓ以下になると点灯し警告します。

■チャージ・ウォーニング・ランプ

〈充電警告灯〉
エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

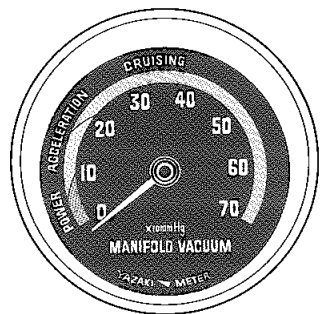
なお、E F I車は電圧が規定以下に下がっても点灯し警告します。



3眼メーター DX, GL, LA車

■ EDモニター

DX, GL車の5速マニュアル・フロア車オプション



EDモニターの表示はエンジン負圧を表わします。経済走行の指針としてご利用ください。

POWER (橙色)

急加速時(エンジン負荷の大きいとき)の範囲、
この場合は燃料消費量の最も多いときです。

ACCELERATION (黄色)

発進時および定常走行中、一時的に加速するときの範囲、
この場合、燃料消費量はPOWER時より少ないときです。

CRUISING (緑色)

定常走行中の範囲、
この場合、燃料消費は経済的です。
定常走行では、指示が大きい状態で運

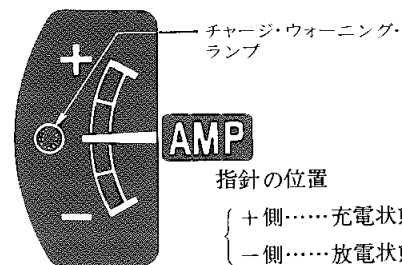
転すれば、燃料消費を少なくできます。
シフト・ポジションが低いときは、指示が大きくなるがありますが、必ずしも経済的ではありません。
走行可能な限り高いシフト・ポジションを使用してください。

★注意

1. ゾーン内周は低速走行時、ゾーンの外周は高速走行時の目安としてください。
2. エンジン・ブレーキ時には指示がアイドリング時より大きく示します。

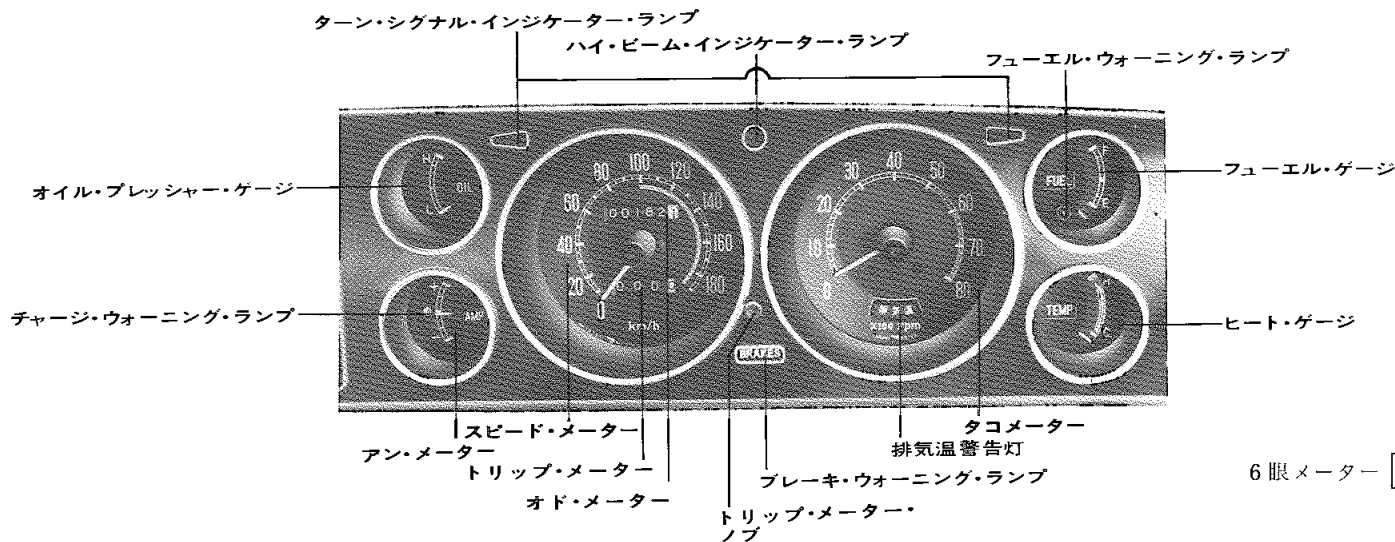
■ アン・メーター<電流計>

6眼メーター付き車



指針の位置
 { +側……充電状態
 { -側……放電状態

エンジン始動後、指針は⊕側に一時大きく振れますがその後徐々にもどり、わずかに⊕側を指示する状態で静止すれば正常です。



6眼メーター G S L, L, L X, L G 車

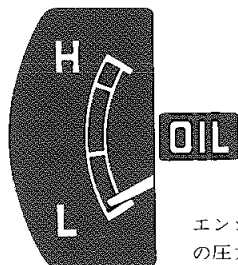
エンジン始動後も⊖側を指示するときは、フォグ・ランプなどの電気の使いすぎか、充電システムの故障が考えられます。ヘッドランプ、フォグ・ランプなどを消してもなお⊖側を指示するときは点検が必要です。

■ **オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ** 〈油圧警告灯〉

エンジン回転中、潤滑系統が異常のときに点灯(赤色)し警告します。エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯(赤色)し、始動すると消灯します。点灯したままのときは、オイル量を調べてください。

■ **オイル・プレッシャー・ゲージ** 〈油圧計〉

6眼メーター付き車



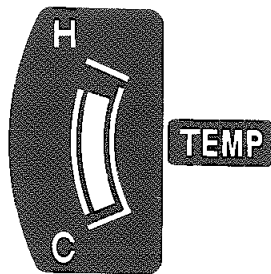
エンジン回転中の潤滑油の圧力を示します。

エンジン回転時の潤滑油の圧力を示します。エンジン回転数を上げても指針が動かないときは潤滑系統に異常がありますので、エンジンをただちに止めて、オイル量を点検してください。オイル量が正規であれば、他のところに故障がありますのでサービス工場で点検をしてください。

■ **ヒート・ゲージ** 〈水温計〉

エンジン・スイッチがONのとき、冷却水温を示します。水温が低いときおよびスイッチがON以外ではCより下の位置にあります。

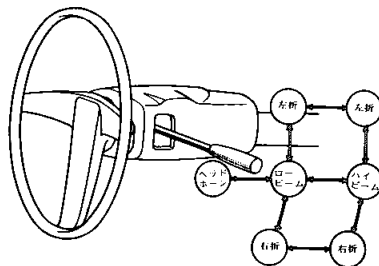
指針がレッド・ゾーンを示すときは、冷却水の有無、漏れおよび、ファン・ベルトのゆるみなどについて点検してください。



■ **ターン・シグナル・インジケーター・ランプ** 〈方向指示器指示灯〉

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅(緑色)します。

■ **ターン・シグナル・レバー**



■ **ターン・シグナル・スイッチとして……**

右左折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅します。ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合があります。このときは手でもどしてください。

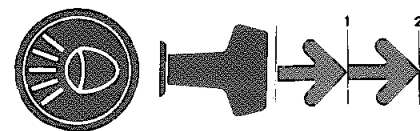
■ **ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……**

レバーをロー・ビームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイ・ビームが点灯します。高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

■ **ディマー・スイッチとして……**

ハイ・ビームとロー・ビームの切り替えをします。夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

■ **ライト・コントロール・スイッチ**



エンジン・スイッチに関係なくランプがつかます。

①および②の位置でそれぞれ次のランプが点灯します。

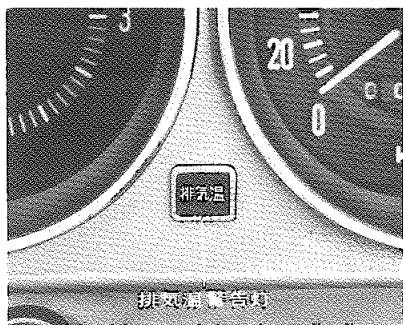
灯 火 名	①	②
ヘ ッ ド ラ ンプ	○	○
ク リ ア ラ ンス・ラ ンプ, テ ィ ル・ラ ンプ	○	○
ラ イ セ ンス・プ レ ー ト・ラ ンプ	○	○
メ ー タ ー・パ イ ロ ッ ト・ラ ンプ	○	○

■ **ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ**

ヘッドランプがハイ・ビームのとき、ハイ・ビーム・インジケーター・ランプが点灯(青色)します。

■排気温警告灯

触媒装置の温度上昇を警告します。



1. エンジン・スイッチを**START**にすると「排気温」のランプが点灯し始動すると消灯します。

STARTにしても点灯しない場合は、ランプ切れ、回路断線などの故障が考えられますので、サービス工場で点検を受けてください。

2. 点火系統に故障を生じたときなど、「排気温」ランプが点灯することがあります。これは触媒温度が高くなったことを示しますので、必ず次の処置をしてください。

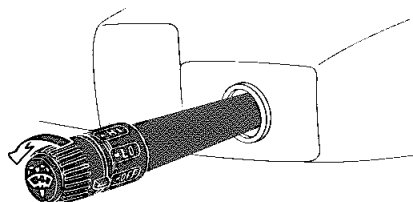
- (1) 走行中は速度を落してください。警告灯が作動したときの、半分程度に速度を落して走行してください。普通は数分内に消灯します。
- (2) 停車中は、エンジンを止めて冷却するまで放置してください。冷却した後は再びエンジン・キーを**ON**にしても点灯しません。

警告灯が消灯した場合はもとのように走行できます。たびたび点灯する場合は、そのまま使用せず、サービス工場で点検整備を受けてください。

■ワイパー&ウォッシャー・スイッチ

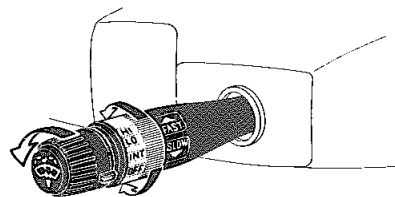
エンジン・スイッチが**ON**のときに作動します。

ワイパー・スイッチ **DX車**



L O……低速 普通雨量のとき
H I……高速 雨量の多いとき

DX車を除く全車



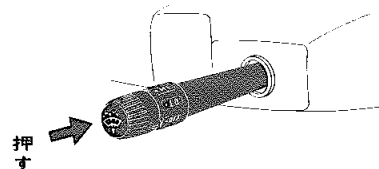
INT……4～12秒おきにワイパーが1回作動します。雨雪量の少ないときに使用してください。スピード調整ツマミで、ワイパー停止時間を**4**(ファスト)～**12**秒(スロー)まで調整することができます。

L O……低速 普通雨量のとき

H I……高速 雨量の多いとき

スイッチを切ると、ワイパーは動き始めの位置までもどって止まります。

ウォッシャー・スイッチ



スイッチを押すとウォッシャー液が噴射されます。

ウィンドウ・ガラスがよごれているときに使用します。

■注意

1. よごれたまま使用するとガラスに傷がつきます。ウィンドウ・ガラスがよごれているときは、ウォッシャー液噴射後ワイパー・スイッチを入れてください。
2. ウィンドウ・ウォッシャー液がカラのときは、スイッチを回さないでください。回すとポンプをいためる恐れがあります。

■リヤ・ウィンドウ・デフォグ・スイッチ



エンジン・スイッチが**ON**のとき作動します。リヤ・ウィンドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りを取ります。スイッチを**ON**にすると、スイッチ内部の照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

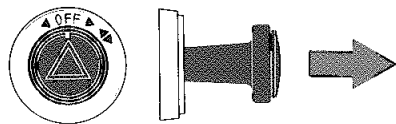
■注意

デフォグは消費電力が大きいため、リヤ・ウィンドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。スイッチを入れっ放しにしておくと、バッテリー上がりの原因になりますのでご注意ください。室内の曇りを取るもので、雨水を乾燥させたり、雪をとく能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

■シート・ベルト警告灯

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、エンジン・スイッチを**ON**にすると点灯(赤色)し、シート・ベルトを装着すると消えます。

■ハザード・ウォーニング&
パーキング・スイッチ
ハザード・ウォーニング・スイッチとして

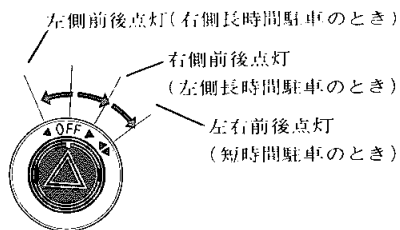


故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。スイッチを引くと、前後左右のターンが点滅し駐車していることを知らせるとともに、左右のターン・シグナル・インジケータ・ランプも点滅します。

★注意

ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

パーキング・スイッチとして
夜間路上駐車時使用します。



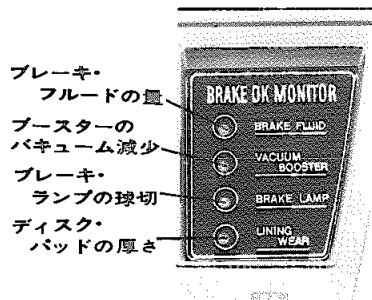
■ブレーキ・ウォーニング・ランプ

1. エンジン・スイッチがONのとき、パーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)し、レバーをもどすと消えます。
2. レバーをもどしても消灯しないとき、または走行中、点灯したときは、ブレーキ・フルードが規定レベル以下になっているかまたはESCが故障している(ESC付き車)ことを警告します。

■ブレーキ・OKモニター

ブレーキに関する4項目の異常を警告します。

G S L, L, L X, L G車標準



1. エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると4個の発光素子が点灯します。発光素子の点灯はエンジン始動後、数秒間続きその後消灯します。
2. エンジン回転中に検知個所に異常があれば、該当個所の発光素子が点滅し同時に警告音が異常を知らせます。

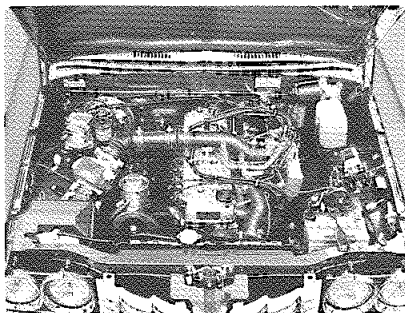
異常個所が発見されたら、ただちに車を止めて最寄りの取り扱い店へ連絡しましょう。

★注意

OKモニターだけで作業点検を済ませず、お出かけ前の点検はエンジン・フードをあけて行なってください。

■EFI(電子制御式燃料噴射装置)

M-EUエンジン車



EFIはエンジンが必要とする燃料を、キャブレターのかわりに、コンピューターによって正確にコントロールする装置です。

★注意

無線装置を取り付けるとエンジンに異常が生じることがあります。この場合は、取り扱い店にご相談ください。

■ESC(電子制御式スキッド防止装置)

L車オプション

ESCは、すべりやすい路面や、高速走行における制動時の横すべりを防止する装置です。

〈走行前のチェック〉

ブレーキ・ペダルを踏み、エンジン・スイッチをONにすると、エンジン・ルームから作動音“コトン”が聞えます。作動音が聞えたら走行してください。ブレーキを踏めばESCは自動的に作動します。

〈走行中のチェック〉

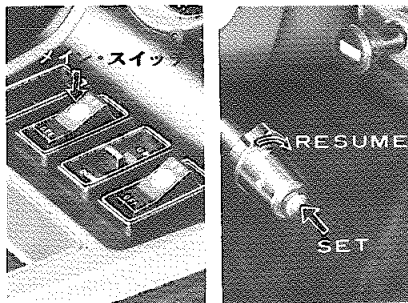
走行中、赤色のブレーキ警告灯が点灯した場合は、ESCに、故障が生じていますのでサービス工場へ連絡してください。

★注意

1. 万一、ESCが走行中、故障した場合には、普通のブレーキ機構にもどります。
2. 無線装置を取り付けると、ESCが誤作動することがあります。この場合は、取り扱い店にご相談ください。

■オート・ドライブ

GL, GSL, LA, L, LX, LG車オプション



オート・ドライブとは車速が一定に保たれる装置で、車速が60km/h～120km/hでセットできます。50km/h以下になると自動的に、解除されます。

希望速度にセットする時

最初に、コンソール・ボックス上のメイン・スイッチをONにし、希望の車速になったらターン・シグナル・レバーの先端のSETボタンを押してアクセル・ペダルを離してください。SETボタンを離した時の速度にセットされます。

オート・ドライブを解除する時、または解除される時

- (1) ブレーキ・ペダルを踏んだ時
- (2) クラッチ・ペダルを踏んだ時
(マニュアル・トランスミッション車)
- (3) シフト・レバーをNにした時
(オートマチック・トランスミッション車)
- (4) パーキング・ブレーキを引いた時
- (5) メイン・スイッチをOFFにした時

車速変更する時

(1) 微増速の場合

SETボタンを押してすぐ離すと、もとの車速から+5km/hの範囲内で増速することができます。

(2) 減速の場合

SETボタンを押しつつけると、減速されますので、希望の車速になったら、SETボタンを離してください。

(3) 増速の場合

そのままの状態でもアクセルを踏み、希望の車速になったら、SETボタンを押してください。

解除前の設定速度にもどしたい時

〈車速が60km/h～120km/hの範囲にあるときのみ〉

オート・ドライブ作用時、ブレーキまたはクラッチを作動させてオート・ドライブを解除した後、再びもとの車速にもどしたい時は、レバーをRESUMEの方向へ回してください。



アクセルをいっぱい踏んだ瞬間には、メイン・スイッチをONにしないでください。

■時計

時刻調整は、つまみを手前に引いたまま回して行かないです。

ラジオ、ステレオ

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチをONかACCにして、電源スイッチを押しONにして使します。

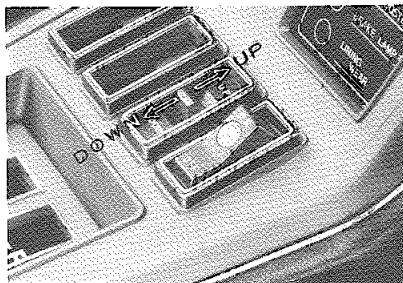
アンテナ DX, LA車標準

アンテナを伸ばすときは、手でひっぱり出します。

アンテナはいっぱい伸ばしてお使いください。

モーター・アンテナ

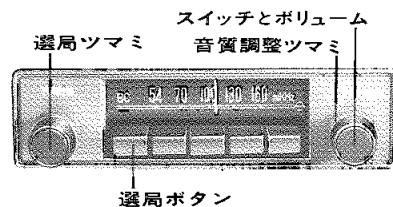
GL, GSL, L, LX, LG車標準



スイッチを前側に押すとアンテナは自動的に上がります。

後側に押すとアンテナは下がります。

AM 5 ボタン式 DX, LA車標準



〈選局ボタンのセットのしかた〉

1. ボタンの1つをいっぱい引き出します。
2. 左側選局ツマミ(TUNING)で望みの局に合わせます。
3. 引き出したボタンをいっぱい押し込みます。
4. 他のボタンも同じ方法でそれぞれの局にセットできます。

放送局の違う地域へ行った場合は選局しなおしてください。

〈選局ツマミ〉

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは左側の選局ツマミで合わせてください。

〈音量調整〉

音量調整ツマミ(VOLUME)を回してお好みの音量に調整してください。

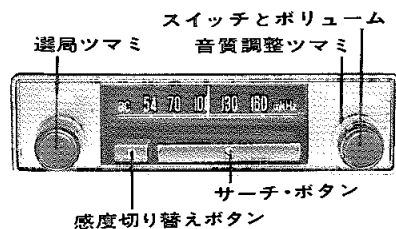
〈音質調整〉

音質調整ツマミ(TONE)を回してお好みの音質に調整してください。

AMサーチ・チューナー式

GL, GSL車標準

DX, LA車オプション



音量調整・音質調整は、プッシュ・ボタン式と同じ取り扱いです。

〈選局のしかた〉

サーチ・ボタンを押すと、指針が自動的に移動し次に受信できる局で止まります。

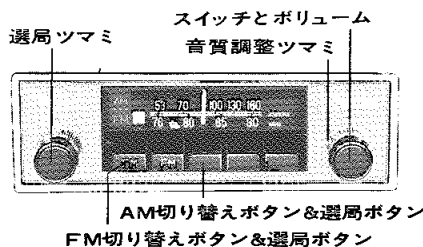
〈感度の切り替え〉

山間部などの電波の弱い地域や、遠くの放送電波をキャッチしたいときに、感度切り替えボタンを押し込んでください。もう一度ボタンを押すともとの位置にもどり、近距離の局のみ選局できます。

AM・FM5 ボタン式

L, LX車標準

DX, GL, GSL, LA車オプション



〈AM・FM放送の受信のしかた〉

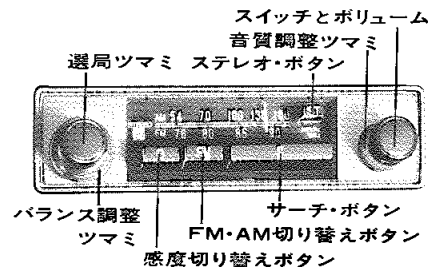
AM・FMの切り替えは選局ボタンで行ないます。

AM放送受信中にFM放送に切り替えるときは、FM選局ボタンを押して選局ツマミを回し、お望みの放送を選んでください。選局ツマミによるAM・FMの切り替えは選局ボタンを押したあとでなければ切り替わりません。選局ボタンのセットはFM2局, AM3局がセットできます。他はAMプッシュ・ボタン式ラジオと同じです。

AM・FM・マルチ・ステレオ式

LG車標準

LG車を除く全車オプション



〈FMボタンのセットのしかた〉

FMボタンを押し込むとFM放送が受信できます。FMボタンをもう一度押すとボタンの位置がもとにもどり、AM放送受信状態となります。

選局のしかたと感度の切り替えはAMサーチ・チューナー式と同じです。

〈バランス調整〉

バランス調整ツマミを回すと、音が左右に移動します。

もつともステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

〈マルチ・ステレオのセットのしかた〉

FM放送受信中にステレオ・ボタンを押すとFMステレオ放送を受信できます。ステレオ受信中にはステレオ・インジケータ・ランプが点灯します。

もう一度ステレオ・ボタンを押すとボタンはもどりFMモノラル放送に変わります。

〈FMステレオを上手に聞くには〉

FM放送の電波はAM放送にくらべ到達距離が短くまた直進性のため、ステレオで聞いている時、ビル街や山の陰、また電波の弱い場所ではシャッシャッと音が変わったり、FMステレオ・インジケータ・ランプが点滅することがあります。これは電波が急に弱くなるためで、ラジオの故障ではありません。

なおこの場合はFMステレオ・ボタンをもう一度押してモノラルにしてください。聞きやすくなります。またアンテナはいっぱいに伸ばしてお使いください。

〈雑音が気になるときは〉

放送電波が雑音電波より弱い場合は、プツツと雑音が混入します。このような場所では次のように操作してください。

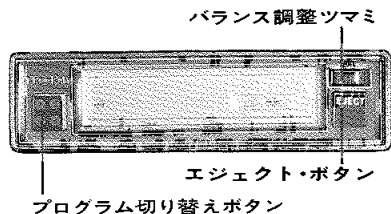
1. エンジンのかけた状態で、選局ツマミを回し、雑音がいちばん少ないところへ合わせ直してください。
2. さらに電波の弱い地域で、どうしても雑音気になるときは、音質調整ツマミを左にスライドして低音にすると、聞きやすくなります。

■ステレオ

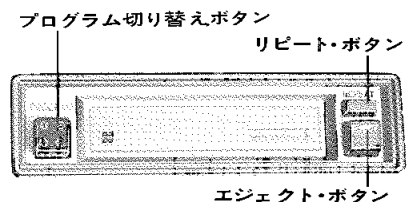
ステレオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

カートリッジ・ステレオ

全車オプション



マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション



エンジン・スイッチがONまたはACCのとき使用できます。

カートリッジ・テープをまっすぐ差し込むと、自動的にチャンネル・インジケータ・ランプがつき演奏が始まります。

＜バランス調整＞

バランス調整ツマミを回すと、音が左右に移動します。

もっともステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション仕様のカー・ステレオはラジオのバランス調整ツマミで調整してください。

＜音量調整＞

ラジオの音量調整ツマミ(VOLUME)を回して適当な音量に調整してください。

＜音質調整＞

ラジオの音質調整ツマミ(TONE)を回してお好みの音質に調整してください。

＜プログラム切り替え＞

演奏中、プログラム切り替えボタンを押すと他のプログラムに切り替えることができます。

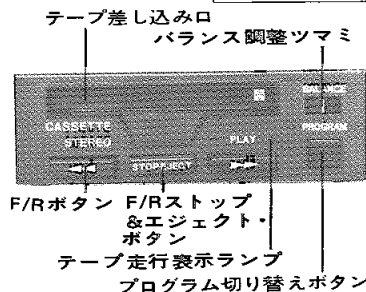
1つのプログラムの演奏が終わると自動的に次のプログラムに切り替わります。

マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション仕様のカー・ステレオはリピート・ボタンを押すとプログラムをくり返すことができます。

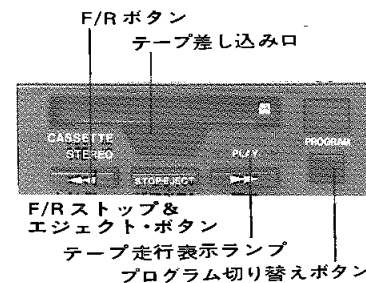
▶注意事項▶

1. テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光をさけて保存してください。
2. テープを演奏状態のままエンジン・キーを切らないでください。
回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。

カセット・ステレオ 全車オプション



マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション



＜演奏開始＞

カセット・テープを差し込み口にまっすぐ“ロック”されるまで差し込んでください。自動的にテープ走行方向表示ランプ(PLAY)が点灯し、演奏が始まります。このとき、ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく自動的に演奏が始まります。

＜音量、音質調整＞

ラジオの音量(VOLUME)、音質調整ツマミ(TONE)で調整してください。

＜バランス調整＞

バランス調整ツマミを回すと、音が左右に移動します。

もっとも、ステレオ感のもりあがる位置にこのツマミを調整してください。

マルチ・ステレオ式ラジオ付き車オプション仕様のものはラジオのバランス調整ツマミで調整してください。

＜プログラム切り替え＞

プログラム切り替えボタンを押すと、プレイ方向表示ランプが切り替わり、テープ走行方向の切り替えができ、お好みのプログラムが選べます。

オート・リバーズ

テープ演奏が終わると自動的にプログラムが切り替わります。

＜早送り(F F)、巻きもどし(REW)＞

F/Rボタンを押すとテープの早送り、または巻きもどしができます。

プレイ走行方向表示ランプの点灯は、テープ走行の方向を表わしています。

プレイ・ランプの点灯している方向と同じ矢印表示のF/Rボタンを押すと早送り、逆方向の矢印表示のF/Rボタンを押すとテープの巻きもどしができます。

<早送り(F.F),巻きもとし(REW)の解除>
エジェクト&F/Rストップ・ボタンを軽く
押すとテープの早送り,巻きもとしを解
除することができます。

<演奏停止>

演奏を停止させテープを取り出したいと
きは,エジェクト&F/Rストップ・ボタン
を強く押し込んでください。

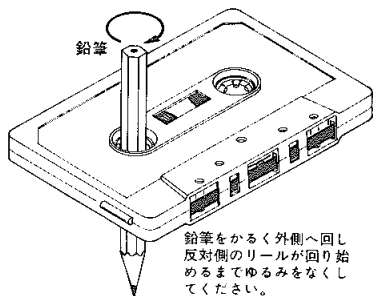
カセット・テープが差し込み口に押し出
され,同時にテープ・プレーヤの電源も
OFFになります。

★注意

1. C-120テープおよびクローム・テー
プは使用しないでください。テープ
の巻き付きや,ヘッドの摩耗を早め
ます。
2. テープを演奏状態のままエンジン・
キーを切らないでください。
回転むらや,テープの巻き込みの原
因になります。

3. カセット・テープをそう入する時は,
テープのたるみを直してください。
4. テープの保存はテープが露出しない
ようにケースに入れ直射日光をさけ
て保存してください。

たるんだテープの修正方法



ヒーター

温度調整レバー

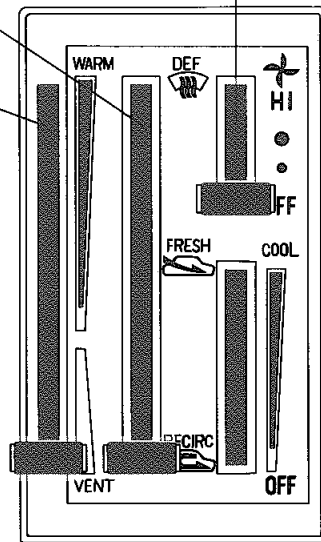
WARM 室内暖房
VENT 室内換気

内外切り替えレバー

DEF ガラス曇り止め
FRESH 外気導入
RECIRC 内気循環

ファン・スイッチ

HI 強風
● 中風
● 弱風
OFF 停止

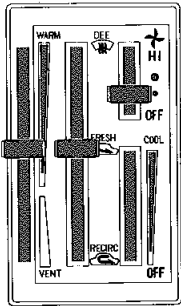


ヒーターは次のような機能をもっています。

- ①ヒーター(暖房用)として
 - ②デフロスター(曇り止め)として
 - ③ベンチレーション(換気用)として
- スイッチ・レバー操作は,次のようにします。

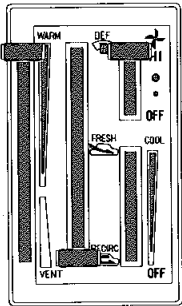
1. 外気による室内暖房

(通常のご使用の場合)



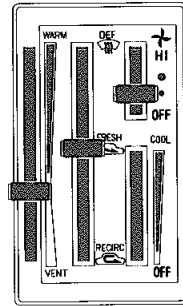
WARMとVENTとの間をもっとも快適な位置に調整してください。

2. 内気による室内暖房



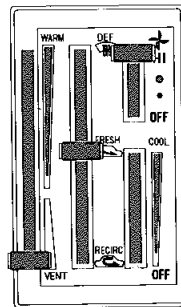
外気をシャット・アウトし、室内空気を暖めて循環させます。窓ガラスが曇ってきたときは外気導入にします。

3. 車を暖めながら換気する操作



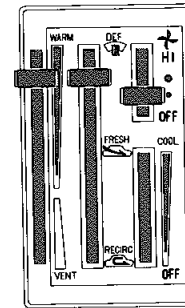
4. 強制ベンチレーション

(夏期ベンチレーション)



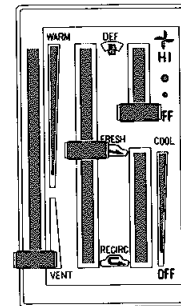
サイド・ベンチレーターも使用すると、一層効果があります。

5. ガラスの曇りどめ (冬期の場合)



曇り止めのためにはサイド・ガラスを少しあけると一層効果があります。

6. ファン停止でも新鮮な空気が導入できる操作 (走行中)

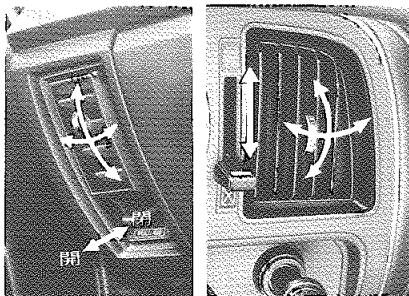


その他

■サイド・ベンチレーター

左側

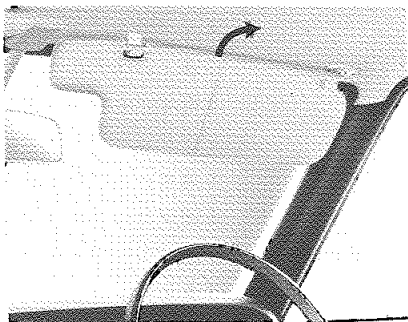
右側



車内の空気を入れ替えたいときノブを動かして使用します。

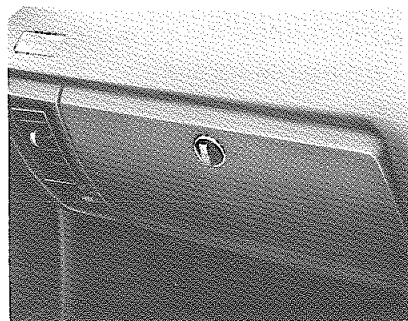
ベンチレーターから新鮮な空気はいります。また、中央部のレーバーを動かすことにより風向きの調節もできます。

■サン・バイザー



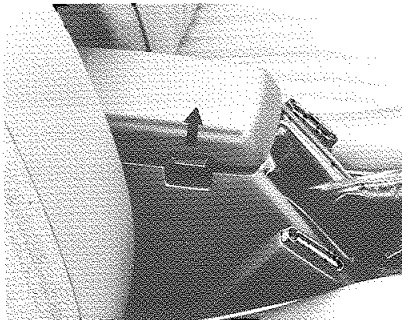
ホルダーからはずすと、横に回すことができます。

■グローブ・ボックス



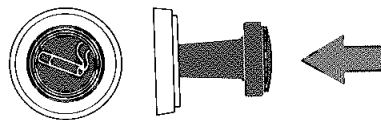
つまみを左に回すと開きます。
ライト・コントロール・スイッチがONのときに、ふたを開くとボックス内右横のランプがつかます。

■コンソール・ボックス



運転席側のボタンを引き上げてフタをあけてください。

■シガレット・ライター

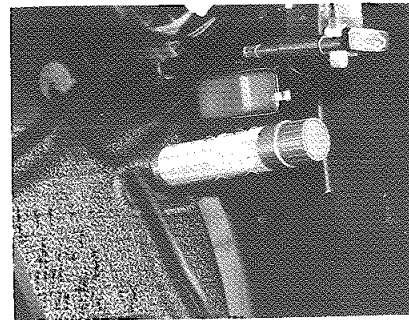


シガレット・ライターは押しこんだらすぐ手を離して、とび出すのを待ちます。

★注意

押しつけたままでいると、シガレット・ライターを痛めます。

■保安炎筒



踏み切り内での故障など非常事態が発生したときに使用します。

使用方法は保安炎筒をよく読んで万一に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。有効期間は3年で有効期限はラベルに明示されていますので確認しておきましょう。発炎時間は約5分間です。

★注意

非常信号用としてのみご使用ください。使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。また、トンネル内で使用すると視界が悪くなり危険ですので絶対使用しないでください。